

新しい観光キャンペーン決定

6月17日、第7期田村市観光キャンペーンクルーの選考会が市役所で行われました。審査委員6人（委員長・皮籠石副市長）が応募者の面接などを行い、意気込みが感じられ、市の観光事業を推進するうえで活躍が期待できる4人をクルーに選びました。



左から三瓶さん、吉田さん、二瓶さん、白岩さん

クルーは各種イベントなどに参加し、市の観光PRを行います。任期は6月17日から2020年6月末までです。

第7期田村市観光キャンペーンクルー

■白岩真未さん

「全国はもちろん、市の皆さんにも市の魅力を伝えていけるよう活動します！」

■二瓶静恵さん

「市の食べ物、名所、イベントを知ってもらい、また来たいと思ってもらえるよう活動していきたいです。」

■吉田華澄さん

「市について学び、それを積極的に伝えることができるよう頑張ります！」

■三瓶芽生さん

「市をよく知らない人たちに市の魅力を広く伝えるために、全力で頑張ります！」

●問い合わせ

産業部観光交流課

☎81-2136

いつでも安心して生活できるまちに

地域の支え合い・助け合いを推進

現在、一人暮らしや、ちょっとした手助けを必要とする高齢者が増えています。

そこで市では、地域の支え合い、助け合う体制を広げるため、「支え合う地域づくり協議体」を設置するとともに、「生活支援コーディネーター」を配置しています。

生活の足・居場所がない

協議体では、市民の皆さんがいつでも安心して暮らしていくためには、地域でどのように支え合いをいかを検討しています。

これまでに協議体で検討した結果、浮かび上がったのは次の課題です。

- 移動手段（生活の足）がない。
- 居場所がない。

では、これらの課題にどうやって対応していけばいいのでしょうか。

地域の資源を洗い出す

そこで協議体では、地域の活動や交流を洗い出し、地図に落とし込む作業をしています。地域資源を把握し、参加したい方に紹介するためです。

地域にはさまざまな活動や交流があります。それは、安心して暮らすための資源としても機能しています。地域の日々のつながりや交流は、支え合いの基盤にもなるのです。

お茶飲み会、スポーツや趣味などのサークル活動、地域のことに話しかけ集まりなど、ぜひ情報をお寄せください。協議体のメンバーやコーディネーターが取材に伺います。

●問い合わせ

保健福祉部 高齢福祉課

☎82-1115



運動サロンも地域資源の1つ

田村

ゆきひとめ

7

たむらほつとニュース

No.1

大越 女性学級 大切です 自分の健康管理



5月13日、女性学級の開講式と合同学習会が大越公民館で行われ、20人が参加しました。

合同学習会では、市の保健師から「田村市民には虫歯や肥満が多い」との話を聞き、しっかり自己管理を行うことの大切さを学びました。その後、いつでもどこでもできるストレッチ体操を行い、家事や仕事でなかなか運動ができない参加者は、体も心もほぐされたようです。

都路 福寿草大学 交通事故・なりすまし詐欺に注意



5月15日、福寿草大学の開講式と第1回定例講座が都路公民館で開催され、24人が参加しました。

定例講座では、田村警察署の職員を講師に迎え、交通シミュレーターを利用した実技を行った後、なりすましの手口について学びました。参加者は、交通事故にあわない、起こさないよう、なりすまし詐欺にあわないよう、改めて思いを強くしました。

常葉 寿学級 いちご狩り・ハイキング・山野草観察を楽しむ



5月15日、寿学級の開講式と第1回学習会が行われ、会員27人が参加しました。

午前、和田観光苺園（相馬市）でいちご狩りを体験しました。

午後は、鹿狼山（新地町）をハイキングする班と花木山ガーデン（同）を散策する班に分かれ、眼下に広がる海の景色や季節の山野草を楽しみ、心地よい汗を流しました。

大越 ふれあい学級 歌、体操でみんな笑顔



5月21日、ふれあい学級の開講式と学習会が大越公民館で開催され、学級生20人が参加しました。

開講式では、役員改選や今年度の事業計画についての意見交換を行いました。

学習会では、市スポーツ推進員の石塚久美子さんを講師に招いて、レクリエーションを行いました。全員で歌を歌ったり体操をしたりして、参加者は笑顔を見せていました。